

あだたら

発行所
三本松市大ノ根
あだたら山の会
編集

二月四日 (日)

三月山行 田村市船引町 片曾根山 (七二八、六六)

報告 中脇ゆき子



片曾根山山頂、遠くは安達太良連峰

【参加者】C I 高橋国蔵、S I 菅原富美子、会計佐藤タカ子、記録中脇ゆき子、運転大内学、菅野善雄、善雄さんの奥さん(七名)
【行動】二本松駅八時出発、二八八号線に入り、磐越東

線船引駅に架かる陸橋を渡ると船引町。町中を抜けて福祉センター到着九時。道路にもかなりの雪。道路脇に車をとめて、九時十五分雪道を歩き始める。雪はけっこう深い。轍を選んで歩

く。しばらく行くと左手の林道に入る。ここから轍は無く、動物の足跡がそこそこに見られる。先頭者の長靴の跡をなぞるように歩く。歩幅が合わない。よるけながらザクザクッと歩く。
十時、陽の当たる所でだけ雪の融けたところで少休憩。日射は明るく、空はにこりの無い青。最高の日和と言っている。再びゆっくりと右廻りに歩きはじめる。案内標識がある。ここからは直登。周辺は整然と植林された杉林。まっすくに登る。「馬頭尊」の碑が見える。程なく電波塔が立つ山頂。
山頂は広い。祠の脇を抜けた先に展望台がある。素晴らしい眺望！、吾妻・安達太良の峰々が連なる。美しいパノラマを堪能した後、四阿(あづまや)で昼食・休憩。十二時。三十三観音を見ながら下山しようと言う事になったが、生憎雪が深くて断念。山頂西側駐車場から車道を下り、途中「近道」の標示に従って、福祉センターに戻る。十三時。晴れた日の、雪の里山行は、すばらしく、よかった。

●編集部連絡先
二本松市大内1-515
0243(22) 4245
渡辺 正

一月二十六日(金)、二月二十一日(水) 菊の里・あおぞら教室

報告 編集部



1月26日 参加者集合写真

班と生活班の利用者が、二月には生活班の利用者が参加。当会からは一月三名、二月二名がボランティアとして参加した。二回とも天候は晴れたが、風は冷たかった。終わってボランティアに記念品を呈して、今年のそりすべりは無事終了した。



2月21日参加のボランティア

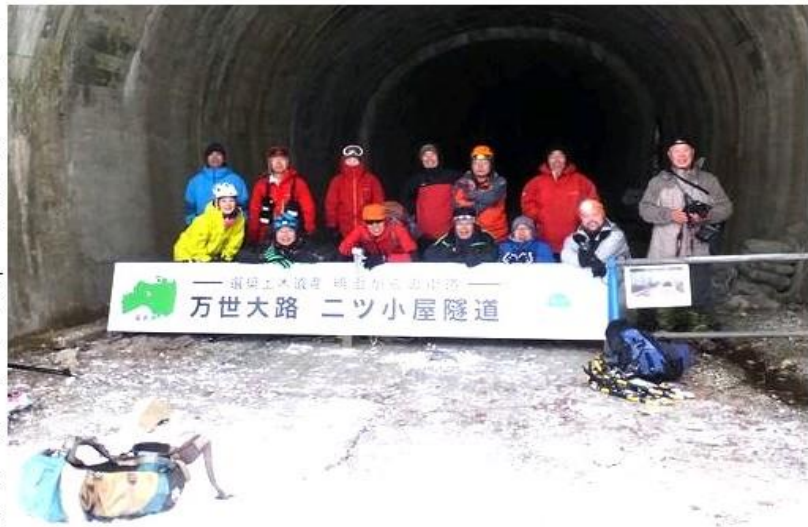


左から 古川・大内・三浦、警察5名

二月二十五日(日)
安達太良山・冬山パトロール
報告 大内学
【参加者】当会三名、警察署五名の計八名
【行動】五葉松平、山頂、くろがね小屋、奥岳と時計回りでの周回してきました。
頂上付近は強風で悪条件の中、経験の無い者もいながら予定のコースを歩けたことと大きな収穫と感心しました。

二月十八日 (日) 県北支部・二ツ小屋隧道探訪

報告 竹部 雅代



【当会からの参加者】町田 勇、菅野英伸、竹部雅代
【行動】県山岳連盟県北支部主催の「栗子峠旧道・万世大路の二ツ小屋隧道を見に行こう」に参加しました。前日からの積雪、今日もずっと降っていました。

栗子へ出発し八時三十分、東栗子第二トンネル手前の左の駐車場到着。スノーシュー素早く装着し八時四十分出発、国道十三号を横切る(この時点で三十cm以上の積雪)スキー三名。すぐ上の大きな建物からゴト

と音がずっと聞こえていた(新しい高速道路の換気口?)。車道から林の中に入る。時々ピンクテープが遠くに見えていたが近道を上がったのだと思う。リーダーのNさんがスキーでラッセルして先導してくれたが、あまりにも速いペースに誰も追いつかず姿が見えなかった。トンネル付近で六十〜七十cm位あったと思う。九時三十分二ツ小屋トンネルに到着(大きな看板があった)。先週のテレビでお笑いの母心のお二人が二時間半掛かっていたが、今日はとても良いペースだったので四十五分でトンネルに到着した。スノーシューを外して、リーダーが準備してくれた縄を靴に結んだ(アイゼンが必要なのは一部分なので、縄が最適)。ヘッドライト必須、ヘルメット持参の方は装着。トンネルに入り氷柱見学(テレビや新聞で見た通りだった。写真を撮る暇がほとんどなかった。氷柱は一部分だけ)。トンネル天井一ヶ所穴が空いていた、春先になり気温が上がったら氷柱が崩れて危険だと思ふ。山形側の出口まで歩いたが往復三十分程度(外の雪底を見上げる、高い! 五〜六mあるかも)。戻って集合写真を撮影した。

立ち休憩五分、十時三十分下山出発。十時五十分無事下山。十一時五分、ここで解散。大笹生駐車場へ戻った。私たちの後に三パターティーが向かっていた。雪は次第に強くなるばかり。

予定よりかなり早く下山したので昼食は食べないで解散。歴史ある万世大路のおかげで、高速道路が今、ここに来たのだから。

二ツ小屋隧道内の氷柱



二ツ小屋隧道内の氷柱



二ツ小屋隧道入口

二月二十日(旧一月五日) 朝から天気も良く妻と信夫山へ。午前十一時護国神社に参拝、梅の標準木は、まだ花芽は少し白くなって来たかなと思われる。月山、湯殿山、鳥ヶ崎展望デッキで昼食。薬師寺、猪稲荷そして先日奉納された大草鞋の羽黒神社へ、早く足が良くなるようお願いをする。下山途中昨年オープンした 信天山ガイドセンターに立ち寄り休憩する。二階フロアは三面ガラス張り。カウンタからは福島町の町や、花見山などを眺めることができ、テンプルなこともあり、信夫山の地図な

また二月二十五日は安達太良パトロール、パトロールには参加出来ない。個人山行で奥岳。十一時出発で熱至平へ向かう。八の字で昼食。十二時半熱至分岐への途中、目印の赤布を付けたながら熱至分岐へ着く。雪が多く分岐点が判らずカゴ山ルートに入る者が多い。風も弱く、カゴ山や山頂を時々見る事ができる。一時三十分下山開始。奥岳三時。無事下山を妻へ電話。帰宅。久しぶりの雪山を楽しむことかできた。

二月二十日 (火) 個人山行、福島市・信夫山

報告 菅野善雄



信夫山、羽黒神社大草鞋と

二月四日は会山行の片曾根山に参加。その後大雪と寒波で外に出る気になれなかった。 二あるので計画を立てるのに良い所であると思う。旧正月の松の内に信夫山の神社仏閣を参拝する事が出来、爽やかな気持ちで帰宅する。